

平成21年10月砥部病院

高齢者こころのケアセンター相談室 ニュースレターNo.42



## わかくさ合奏団演奏会

平成21年9月20日に、センター5階にて木管五重奏グループ「わかくさ合奏団」が演奏会をしてくださいました。



「わかくさ合奏団」は、2008年秋に結成された女性5名のグループです。実はみなさん私たちの生活を日頃守ってくださる愛媛県警察所属の職員です。忙しい勤務の傍ら、月1回木管アンサンブルを楽しむ同好会として、練習し、時々施設でボランティアコンサートをしています。

この日は、「浜辺の歌」「夕焼小焼」など童謡から、心弾むクラシックの名曲まで、30分演奏をしていただきました。途中、クラリネット、フルート、ファゴット、ホルン（下図参照）それぞれの楽器の紹介がありました。今では、金管楽器になっているホルンやフルートも元々は「木」で作られていたのですね。

すてきな演奏会をありがとうございました。



シルバーウィークには、「わかくさ合奏団」演奏の他、美空ひばりさんの歌番組や映画を各階で鑑賞しました。歌、踊り、演技、語り、どれをとっても画面いっぱいに素晴らしさが伝わり、多くの方が「昭和の歌姫」ひばりさんに魅了されました。





この旅姿はだれでしょう???

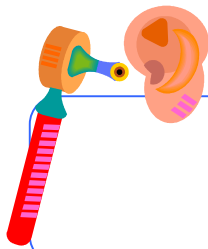
この方は、実はセンターに毎週往診に来ていただいている「平田歯科」平田先生です。

平成 21 年 9 月 27 日砥部病院本館であった砥部ライオンズクラブ「ライオンズ一座」公演の一場面でした。本館の方とともに楽しませていただきました。ありがとうございました。



さて 10 月は、砥部町のお祭りがあります。3 日のコーノグループアコーディオンの時間は、祭りにちなんだ曲を特集し、6 日は、毎年恒例「一木獅子舞保存会」による獅子舞、7 日当日は宮出しされた神輿が玄関に来ます。

なお 10 月後半には、剣舞を予定しております。お楽しみに。



## 平成 21 年 11 月聴こえ・補聴器相談

補聴器の調子や補聴効果についてご相談したい方は、事前にご連絡ください。第 1 月曜日午後に相談日を設けております。

## KUMAのつぶやき

平成 21 年 9 月 12 日愛媛県民文化会館に日野原重明先生が講演にいられていました。

先生は日本音楽療法学会理事長であり、本学会学会が初めて四国で開かれたため、市民講座にて「音楽が持つスピリチュアリティ」と題し、90 分息もつかず、立ったまま講演をされました。

先生の人生の中での音楽の出会いは、自然で運命的であり、それが現在の職業である医療にも影響があること、音楽は逆境をプラスに変える力があることを体験持って先生ご自身が理解されていることをお話していただきました。

聴衆 3 千人を沸かせた講演後、道後でお食事されるため、出入り口に立っていた先生は、握手と写真攻めにあっておられました。とてもこの 10 月で 98 歳を迎えられるとは思えないパワーでした。



編集：砥部病院高齢者こころのケアセンター 相談室（文責 武田）

相談員：青木（512）・岡田（513）・武田（516）

何かお気づきの点がございましたら、ご相談ください。